

1 福岡県学力調査実施状況（実施：令和4年6月）

(1) 調査学年・科目

小学校（対象学年：5年生） 国語、算数

中学校（対象学年：1年生及び2年生） 国語、数学

(2) 参加状況（代表値：国語）

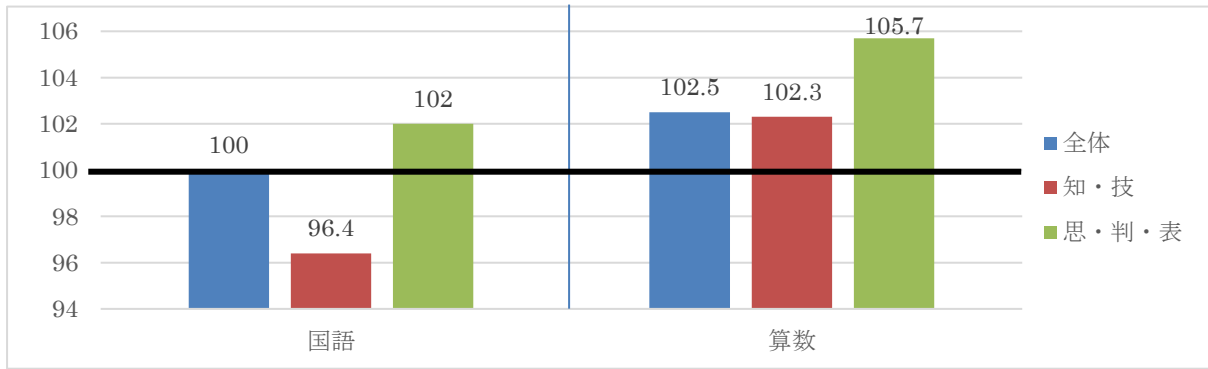
小学校 5年生 福岡県：23,136人 糸島市：889人

中学校 1年生 福岡県：21,235人 糸島市：921人

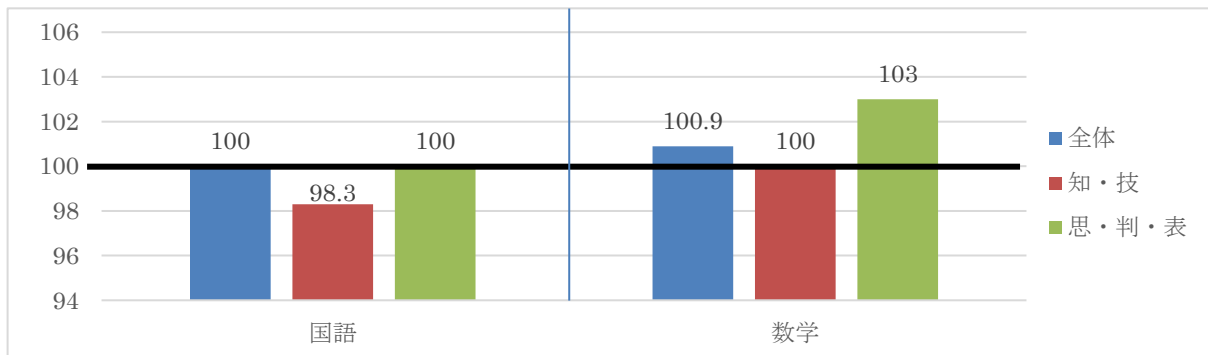
2年生 福岡県：21,027人 糸島市：868人

2 平均正答率（全体及び観点別） ※県平均を100.0（太線）とした標準化得点に換算

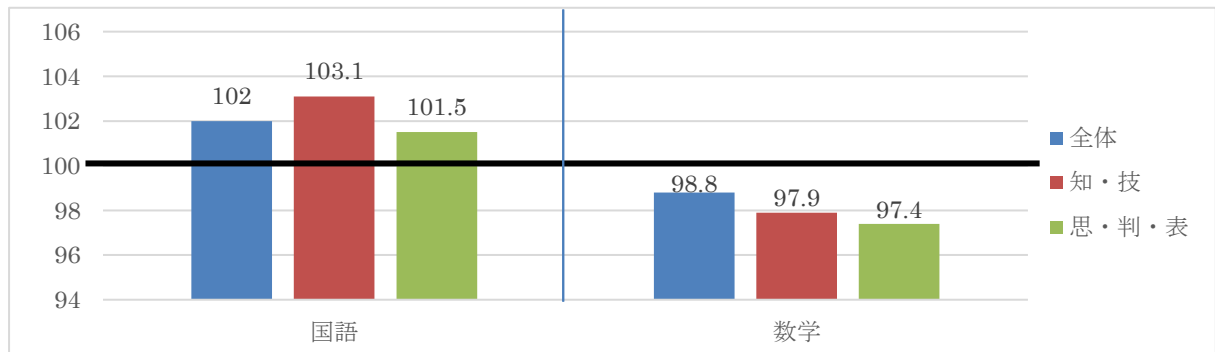
(1) 小学校 第5学年



(2) 中学校 第1学年



(3) 中学校 第2学年



- 小学校、中学校1年生は両教科で県平均を上回った。中学校2年生は数学で県平均を下回った。
- 小学校、中学校1年生は「知識・技能」より「思考・判断・表現」が高い。

4 結果から見えた糸島市の課題

【小学校 第5学年】

- 手紙を書く問題で、文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことに課題がある。
- 小数÷整数の計算に課題がある。

【中学校 第1学年】

- 新聞を書く問題で、目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。
- 割合、割合のグラフの問題で、他者の考え方が正しいかどうかを割合の考えを用いて判断し、その理由を記述することに課題がある。

【中学校 第2学年】

- 文学的な文章を読む問題で、目的に応じて必要な情報に着目し、内容を解釈することに課題がある。
- データの活用において、度数分布表から必要な情報を読み取り、その結果を事象に即して解釈することに課題がある。

【小中共通】

- 算数・数学において、各学年の「知識・技能」「思考・判断・表現」の得点にばらつきがあり、系統的な指導の必要がある。
- 全体的に思考・判断・表現を問う問題が高く、知識・技能を問う問題が低い傾向にある。

5 福岡県学力調査を踏まえた今後の取組

糸島市学力向上プランに基づいて、下記の取組を行う。

(1) 学習指導の日常的な改善

- ・ 文章を読んで理解したことや考えたことを、根拠をもとに説明・表現する言語活動の発達段階に応じた位置づけと指導の強化。
- ・ 知識・技能問題に対するつまづき等に応じるICT等を活用した個別学習の充実。
- ・ 課題の解決に向けて、自分で考え自分で取り組む学習を充実

(2) 調査問題を活用した校内研修の実施

- ・ 領域・問題形式等による調査結果分析の確実な実施
- ・ 調査結果分析の定期考査等への反映と分析に基づいた授業改善の検討と実践
- ・ 学び方や目標を共有するための、小中合同研修会を実施